

認定かかりつけ 基準薬局

『認定かかりつけ基準薬局』とは、秋田県薬剤師会の会員が所属する会員薬局がより「質の高い薬局」を目指し、普及・拡充することを目的としております。

地域住民のために、地域に密着した健康情報の拠点として、一定の基準を満たした薬局を『認定かかりつけ基準薬局』として認定したものです。

もちろん基準薬局でなくても処方せん調剤を行うことはできますが、『認定かかりつけ基準薬局』をあなたの『かかりつけ薬局』選びの1つの目安としてください。

地域の皆様のために新しく作られた
“認定かかりつけ基準薬局”です



お近くの基準薬局は、
秋田県薬剤師会HP、保険薬局検索
で探せます。



処方せんの有効期限は
処方日を含めて4日間です。

秋田県薬剤師会

秋田市千秋久保町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail info@akiyaku.or.jp http://www.akiyaku.or.jp

健常者でも唾液を誤嚥していると書きましたが、ほとんどの方は誤嚥性肺炎になったことがないと思います。そもそも誤嚥性肺炎は誤嚥した力が低下している状態で発症しやすいため、免疫力が低下している状態で発症しやすいため、免疫力が低下している状態です。

誤嚥して誤嚥性肺炎になる人、ならない人

このように誤嚥性肺炎の主な原因は食事中にむせることではなく、寝ている時に唾液を誤嚥することにあります。

十分な栄養を摂取し免疫力低下を防ぐこと、口の中を清潔に保つことが重要になります。日中はもちろ

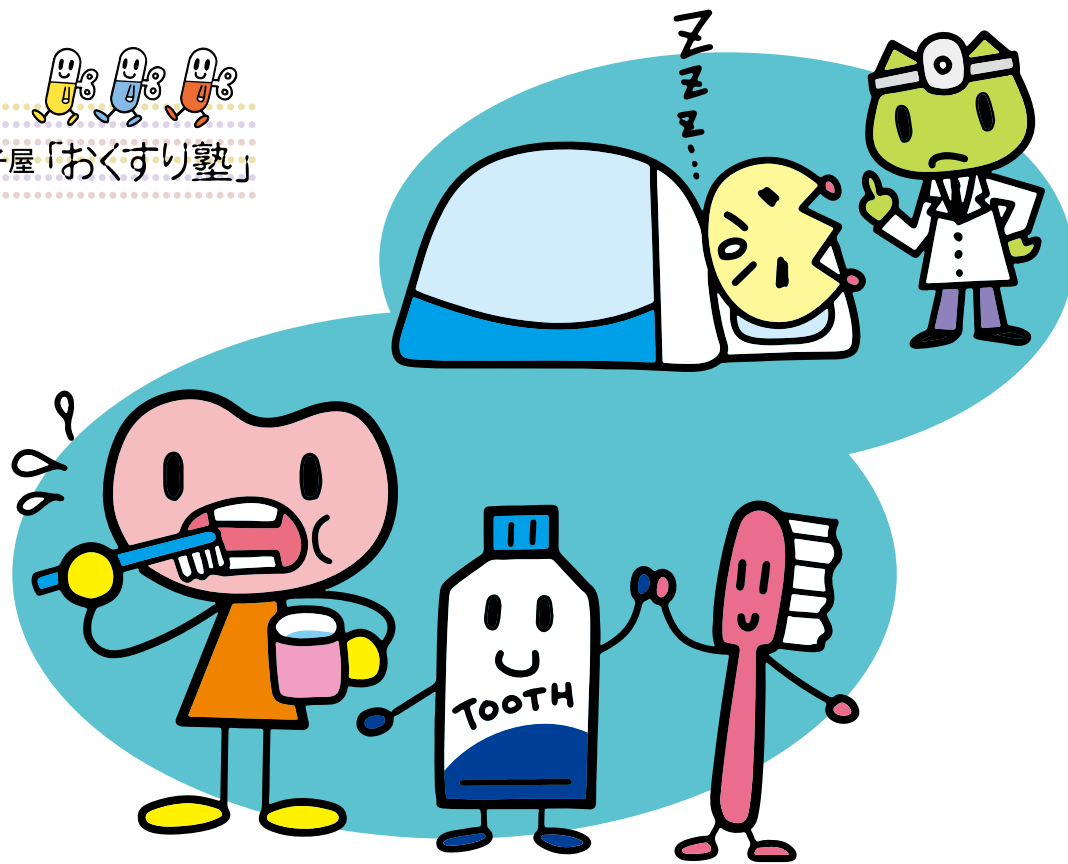
誤嚥性肺炎の予防法と 口腔ケアの重要性

きちんと食事を食べて、十分な栄養が摂取できていれば誤嚥してもまず発症することはありません。逆に点滴だけで口から何も食べていなくても、栄養状態が悪いと誤嚥性肺炎を発症することが知られています。よって、誤嚥性肺炎とは誤嚥、低栄養、免疫力低下による、細菌感染によって起きる肺炎といえます。

ん大事ですが、特に寝る前の口腔ケアが効果的です。口腔ケアの効果は、虫歯や歯周病の予防だけでなく、唾液の分泌を促す、味覚を改善する、認知症を予防する、インフルエンザを予防する（発症が10分の1に減少したとの報告もあります）などさまざまです。口の中を清潔に保つことで食欲を保ち、栄養状態を良好にし、免疫力アップも期待できます。繰り返しますが、食べ物の誤嚥が誤嚥性肺炎の主な原因ではありません。寝ている間にむせずに誤嚥している唾液が主な原因です。

口腔内に菌が多いこと、栄養状態が悪く免疫力が低下していることが誤嚥性肺炎の大きなリスクになります。たまにとか、やったりやらなかったりではなく、継続した口腔ケアが誤嚥性肺炎の予防には効果的です。そのためにも定期的な歯科受診、適切な口腔ケアが大切になってきます。しばらく歯医者さんにかかっていない方は、最低でも年に1回は歯科検診を受けることを強くお勧めします。

●監修／志水歯科医院 勝部朝之先生
(雄勝調剤薬局 高橋 裕一)



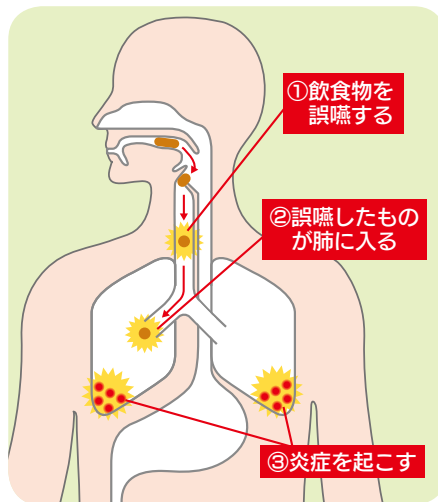
誤解されている誤嚥性肺炎

「飯を食べたり、お水を飲んだ時にむせると誤嚥性肺炎になる、その聞いたことはありませんか？」誤嚥性肺炎の本当の原因はむせることではありません。

誤嚥性肺炎とは

口から食道へ入るべきものが気管に入ることを誤嚥といい、唾液や食べ物、胃液などと一緒に細菌を誤って吸引することで誤嚥性肺炎は発症する、と日本呼吸器学会のホームページに記載されています。

ここまではその通りなのですが、よく左のような図を目にします。こ



こに、皆さんに誤解を与える点があるように思えます。

食事じゃない本当の原因

もう一度、誤嚥性肺炎とは何か確認してみましょう。食べ物を誤嚥することで発症するのではなく、細菌を吸引することで発症するとされていますね。自宅のご飯、病院で入院中に提供される食事に大量のばい菌が混入していることは考えにくいので、食事にむせた、肺に入っただけでは誤嚥性肺炎にはなかなかならないことが分かります。

また、誤嚥と聞くとむせるとイメージされがちですが、就寝中にほとんどむせずに唾液を誤嚥することがあり、多くの健常者でも寝ている時は唾液を誤嚥して